

**製品名: PI 3-キナーゼ p110 $\gamma$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16099**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	120kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PIK3CG PIK3CG; Phosphatidylinositol 4; 5-bisphosphate 3-kinase catalytic subunit gamma isoform;
別名	PI3-kinase subunit gamma; PI3K-gamma; PI3Kgamma; PtdIns-3-kinase subunit gamma; Phosphatidylinositol 4,5-bisphosphate 3-kinase 110 kDa catalytic subunit
遺伝子 ID	5294.0
SwissProt ID	P48736
免疫原	抗血清はヒト PIK3CG 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 881-930

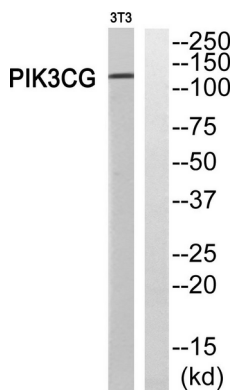
**背景**

ホスホイノシチド3キナーゼ (PI3K) はイノシトール脂質をリン酸化して免疫応答に関与する。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PI3KのクラスI触媒サブユニットである。他のクラスI触媒サブユニット (p110- $\alpha$ 、p110- $\beta$ 、p110- $\delta$ ) と同様に、コードされるタンパク質は p85 調節サブユニットに結合して PI3K を形成する。この遺伝子は、以前に骨髄性白血病で同定された7番染色体の共通欠失領域に位置する。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2015年6月]、触媒活性: ATP + 1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール 4,5-ビスリン酸 = ADP + 1-ホスファチジル-1D-ミオイノシトール 3,4,5-トリスリン酸。、酵素調節:  $\alpha$  および  $\beta$ - $\gamma$  タンパク質の両方によって活性化される。、機能: 細胞内ホスホイノシチド PtdIns-4,5-ビスリン酸 (PtdIns(4,5)P2) を 3-リン酸化して PtdIns-3,4,5-トリリン酸 (PtdIns(3,4,5)P3) を生成する。G タンパク質共役受容体の活性化と二次メッセンジャー PtdIns(3,4,5)P3 の産生を結び付ける。、経路: リン脂質代謝;ホスファチジルイノシトールリン酸合成。、類似性:PI3/PI4 キナーゼファミリーに属します。、類似性:1つの PI3K/PI4K ドメインを含みます。、サブユニット:触媒サブユニット(PIK3CG/p120)と調節サブユニット(PIK3R5a/p101)のヘテロダイマー。、組織特異性:脾臓、骨格筋、肝臓、心臓。、

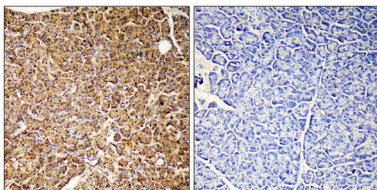
## 研究分野

イノシトールリン酸代謝、ErbB\_HER、ケモカイン、ホスファチジルイノシトールシグナル伝達系、mTOR、アポトーシス阻害、ミトコンドリアアポトーシス、アポトーシスの概要、VEGF、接着斑、Toll 様、Jak\_STAT、ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害、T細胞受容体、B細胞抗原、FcイプシロンRI、FcガンマRを介した貪食、白血球の内皮透過性遊走、神経栄養因子、アクチンと細胞骨格の調節、インスリン受容体、プロゲステロンを介した卵母細胞成熟、II型糖尿病、アルドステロンを介したナトリウム再吸収、がんの経路、大腸がん、腎細胞がん、脾臓がん、子宮内膜がん、神経膠腫、前立腺がん;黒色腫;慢性骨髄性白血病;急性骨髄性白血病;小細胞肺がん;非小細胞肺がん;

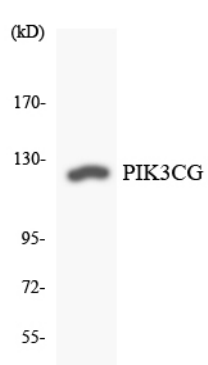
## 画像データ



PIK3CG抗体のウェスタンブロット解析。右レーンはPIK3CGペプチドでブロッキングされている。



PIK3CG抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学染色。右レーンはPIK3CGペプチドでブロッキングされている。



PIK3CG 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。